

(様式2)

# 令和7年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和8年度3月23日  
札幌市立屯田中央中学校

## 1 学校教育目標

開拓の心を受けつぎ  
自らの研鑽によって 知恵を磨き 心身を鍛錬して 丈夫な体と豊かな人間性を養い  
人類の平和に貢献しようと努力する実践力のある生徒を育成する。

○明るい 豊かな 社会を想像し 人類の平和に貢献することをめざして

1. 生き生きとした豊かな知性をみがく (知育)
2. 強靱で健全なたくましい心身を育てる (体育)
3. 礼儀を重んじひろく人と自然を愛する豊かな心情をはぐくむ (徳育)

## 2 学校経営の基本方針

1. 公教育への自覚と責任をもった教育活動の推進
2. 豊かに学び、ふれ合いを大切にしたい学校づくり
3. 磨き合い、高め合う充実した学校
4. 説明責任と結果責任を明確にする開かれた学校
5. 家庭や地域とともにある学校

## 3 本年度の重点と具体的な取組

生徒の声を聴き、多くの経験を通して。「飛躍」を支援する

1. 学ぶ力の育成
2. 人間尊重を基盤とした、豊かな心の育成
3. 健やかな体の育成
4. 教育相談の充実と子どもの発達への支援
5. 家庭・地域とともにある信頼される学校づくり
6. 働き方改革の推進

## 4 自己評価結果

※自己評価結果：A…「十分である」 B…「概ね十分である」 C…「不十分である」

※関係者評価：a…「適切である」 b…「どちらともいえない」 c…「適切でない」

	評価項目	自己評価	学校関係者評価		
		達成状況	改善の方向	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
1 学ぶ力の育成	・主体的に学びを深められる「分かる・できる・楽しい」授業の充実 ・指導と評価の一体化による授業改善と評価の充実のための校内研修の推進 ・計画的に学習に取り組む学習習慣づくりの推進 ・自己理解をもとに、自己の将来を考え実現を目指す「生き方」指導を基盤としたキャリア教育の推進	A	・どの教科においても「分かるできる楽しい」授業の実現に向け、取り組んでおり、生徒アンケートからも概ね良好と言える。一方で「基礎学力の向上」や「家庭学習の習慣化」、については継続課題であるため、具体的な方策についてパートナー校とも情報共有しながら検討していく。 ・評価評定については、次年度も生徒及び保護者に対し、より確実な理解が得られるよう、継続していく。 ・今年度は、外部講師による講演会等を積極的に設定した。多様な考えに触れる機会となり、自己理解や自己実現の一助となった。	a	a

(様式2)

<p>2 な心の育成 人間尊重を基盤とした、豊かな</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人一人が互いを価値のある存在と認め、支え励まし、高め合う活動に根ざした人間尊重の教育</li> <li>・生徒の良さを伸ばす共感的な支援</li> <li>・自立を育み、自律を目指す適切な指導</li> <li>・命を大切にす指導の充実</li> <li>・いじめの未然防止と早期発見、いじめ対策組織による情報共有と迅速な対応。家庭、地域と連携したいじめを容認しない雰囲気づくり</li> <li>・自分自身を探究し、自他や生命を尊重する態度を育てる道徳教育の推進</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お互いを認め、尊重し合える態度については、アンケート結果から、非常に高い評価となっている。現在の状況が維持できるよう、高い意識をもって取り組んでいく。</li> <li>・いじめの未然防止について、今年度より生徒会によるポスターによる啓発活動を実施した。更に取組を強化し、いじめを容認しない雰囲気を高めていく。</li> <li>・「挨拶」については、様々な活動を通じて向上しているが、更に「心のこもった挨拶」を意識させたい。</li> </ul>	a	a
<p>3 体の育成 健やかな</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立と心身の健康を保つ正しい知識、倫理観、態度の育成</li> <li>・進んで運動に親しむことができる機会の充実</li> <li>・食に関する知識と実践力を培う食育の推進</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な生活習慣の確立は、家庭との連携が不可欠なため、懇談会等で更に情報の発信を行っていく。また、望ましい食生活についても同様で、栄養教諭による指導及び家庭への情報発信を継続していく。</li> </ul>	b	a
<p>4 もの発達への支援 教育相談の充実と子ども</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・心の安心を確保する計画的な教育相談と即時的な教育相談の調和</li> <li>・個々の発達や特性に応じた支援の推進</li> <li>・特別な配慮を必要とする生徒への関わりや支援の充実</li> <li>・校内学びの支援委員会の充実によるスクールカウンセラーや相談支援パートナー、関係機関との更なる連携</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年度導入された健康観察アプリ「シャボテンログ」及び生活ノート「ミライパスポート」の活用によって生徒の状況の把握に努めることができ、教育相談等に生かすことができた。</li> <li>・次年度は校内学びの支援委員会の開催回数を増やし、よりきめ細やかな生徒の支援に努める。</li> <li>・「相談しやすい雰囲気づくり」に今後も努めていく。</li> </ul>	a	a
<p>5 る信頼される学校づくり 家庭・地域とともにあ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グランドデザインを基にした小中一貫した教育の推進</li> <li>・札幌らしいコミュニティ・スクール導入に向けた取組</li> <li>・PTA 活動の充実と社会に開かれた教育課程の推進</li> <li>・学校評価、学校関係者評価による教育活動の改善・見直し</li> <li>・効果的な情報発信と学校への理解と協力にもとづく「地域力」の活用</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にパートナー校との会議をもち、各校の取組状況や課題の共有、コミュニティ・スクール導入についての打合せを実施した。</li> <li>・学校ホームページや学校・保護者間連絡システムを活用し、タイムリーな情報の発信に努め、開かれた学校づくりの一助とする。</li> </ul>	a	a
<p>6 改革の推進 働き方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慣例などにとらわれることなく、これまでの業務などの見直しを図る</li> <li>・職場環境の整備、資料等の管理、整理と確実な引継ぎ</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT 機器の活用を中心とした効率的な業務の推進及び職場環境の整備を更に進めていく。</li> </ul>	a	a
<p>学校関係者評価者による意見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールが導入される令和9年度までにより広く保護者、地域への普及活動が必要と思われます。</li> <li>・華林祭、合唱会を拝見しましたが、子どもたちはもちろん、教師陣の一体感が素晴らしく熱心に取り組んでいると感じました。</li> <li>・学校評価アンケートの評価記載方法について統一した方がよい。</li> <li>・人間形成、家庭との連携を図り、優先順位をつけて今後の諸課題に対応していただきたいと思います。</li> <li>・来校した際の挨拶がよくなっていると感じます。ゴミ拾いボランティアなどの活動も良い。</li> <li>・子どもたちの SNS の利用について学校としてどのように考えていますか。</li> <li>・「こころぐ」や「シャボテンログ」「ミライパスポート」のようなデジタルとアナログ双方を活用し、生徒個々に寄り添う対応を評価します。</li> <li>・生徒や教職員が AI で生成された情報に触れることや AI を使用することが当たり前になってきました。ICT や AI に依存するのではなく、共存し活用するきっかけになる教育を今後も期待します。</li> <li>・アンケート結果やホームページから発信される情報、行事への参加から学校行事が制限なく実施され、生徒や教職員の活力を感じる。卒業式等の行事に参加した際に受付や来賓対応など主要な役割を生徒自身が大きな声で澆刺と対応していることや式への真摯な参加姿勢から教育の効果を感じた。また、卒業証書を受け取る生徒の映像が会場スクリーンにうつされるなど、生徒や保護者の目線に立った様々な工夫を感じました。</li> <li>・トイレ等、設備がきれいにメンテナンスされていますが、老朽化が進んでいます。今後もより良い設備への働きかけを期待しています。</li> </ul>				